

平成26年度当初予算案
主要事項説明資料

農 林 水 産 部

主要事項説明資料目次

農 林 水 産 部

ページ	事業名	担当課
1	京力農業・農村総合対策事業費	各課
2	農業経営支援事業費	担い手支援課
3	健康京野菜研究開発事業費	研究普及ブランド課
4	ブランド京野菜需要開拓事業費	食の安心・安全推進課、 研究普及ブランド課
5	中核新規就農者倍増事業費	担い手支援課
6	農業経営実践型学舎づくり事業費	担い手支援課
7	きょうと「食の安心・安全」確保事業費	食の安心・安全推進課
8	丹後・食の王国構想セカンドステージ推進事業費	農村振興課
9	京都モデルファーム推進事業費	担い手支援課
10	農業者経営復興特別支援事業費	担い手支援課
11	春の農林水産業祭開催事業費	研究普及ブランド課
12	宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業費	農政課、農産課
13	家畜防疫対策推進事業費	畜産課
14	担い手農地活用加速化事業費	担い手支援課
15	森林・林業経営イノベーション事業費	林務課
16	京都モデルフォレスト推進事業費	モデルフォレスト推進課
17	野生鳥獣被害総合対策事業費	森林保全課
18	森林の恵みを届ける京の森整備事業費	各課
19	府内産木材利用拡大戦略事業費	共通
20	緑の公共事業費	共通
21	農林水産業基盤整備事業費	共通

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	きょうりょく 京力農業・農村総合対策事業費																																																								
予算額	1,635,282千円	新規・継続の別	一部新規																																																						
事業内容 〔目的対象方法等〕	1 趣 旨 担い手の減少・高齢化等に的確に対応し、力強い京都農業づくりと持続可能な農山漁村づくりを展開するため、農業法人等を核とした農業経営構造への転換や地域資源を活かした農山漁村ビジネスの創出等を総合的に推進																																																								
	2 事業概要 (単位:千円) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 20%;">事 項</th> <th style="width: 10%;">予算額</th> <th style="width: 60%;">事 業 の 概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">農業生産を支える</td> <td colspan="3" style="background-color: #e0f0ff;">担い手経営基盤強化対策</td> </tr> <tr> <td>京力農場づくり事業費</td> <td style="text-align: right;">185,000</td> <td>核となる農業法人等が、農地集積や契約栽培等により、中核的な担い手が不足する集落を牽引する農業経営構造へ転換</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="background-color: #e0f0ff;">需要対応生産加速化対策</td> </tr> <tr> <td>京野菜等生産加速化事業費</td> <td style="text-align: right;">148,800</td> <td>市場・消費者ニーズに対応可能な生産量確保を図るため、生産拡大や安定出荷に必要な施設整備等を支援するとともに、普及センターによる技術指導等伴走支援を実施</td> </tr> <tr> <td>酒米生産加速化事業費</td> <td style="text-align: right;">35,000</td> <td>酒米の安定供給に必要な施設整備等を支援</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="background-color: #e0f0ff;">農業生産維持対策</td> </tr> <tr> <td>農と環境を守る地域協働活動支援事業費</td> <td style="text-align: right;">361,690</td> <td>地域ぐるみで農地や農業用水等の保全を図る共同活動や施設の長寿命化を図る向上活動を支援</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">集落機能を支える</td> <td>中山間地域等直接支払事業費</td> <td style="text-align: right;">523,442</td> <td>中山間地域等における農業生産活動及び多面的機能を増進する活動を支援</td> </tr> <tr> <td>中山間地域特産物生産応援事業費</td> <td style="text-align: right;">73,500</td> <td>収入維持・確保による農業生産活動の継続を図るため、実需者からの要望のある品目や新たな「地産地商」品目などの導入を支援</td> </tr> <tr> <td>ブランド生産振興事業費(有機農業・環境調和型農業支援事業費)</td> <td style="text-align: right;">8,000</td> <td>有機農業をはじめとする地球温暖化防止等に効果の高い営農活動を支援</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="background-color: #e0f0ff;">集落機能維持・向上対策</td> </tr> <tr> <td></td> <td>明日の「京都村」づくり事業費</td> <td style="text-align: right;">42,000</td> <td>地域住民自らが描く村の将来像の実現に向け、地域資源を活かした村オリジナルの農村ビジネスや村づくりを支援</td> </tr> <tr> <td></td> <td>明日のむら人移住促進事業費</td> <td style="text-align: right;">50,250</td> <td>都市部からの移住希望者受入を促進するため、市町村が行う移住者確保のための空き家を活用した定住住宅の整備等を支援</td> </tr> <tr> <td></td> <td>共に育む「命の里」新展開事業費</td> <td style="text-align: right;">207,600</td> <td>後継者不足や農林地の荒廃など厳しい状況にある農山村地域において、緊急的かつ総合的な里の人づくり・基礎づくりを展開</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,635,282</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			区分	事 項	予算額	事 業 の 概 要	農業生産を支える	担い手経営基盤強化対策			京力農場づくり事業費	185,000	核となる農業法人等が、農地集積や契約栽培等により、中核的な担い手が不足する集落を牽引する農業経営構造へ転換	需要対応生産加速化対策			京野菜等生産加速化事業費	148,800	市場・消費者ニーズに対応可能な生産量確保を図るため、生産拡大や安定出荷に必要な施設整備等を支援するとともに、普及センターによる技術指導等伴走支援を実施	酒米生産加速化事業費	35,000	酒米の安定供給に必要な施設整備等を支援	農業生産維持対策			農と環境を守る地域協働活動支援事業費	361,690	地域ぐるみで農地や農業用水等の保全を図る共同活動や施設の長寿命化を図る向上活動を支援	集落機能を支える	中山間地域等直接支払事業費	523,442	中山間地域等における農業生産活動及び多面的機能を増進する活動を支援	中山間地域特産物生産応援事業費	73,500	収入維持・確保による農業生産活動の継続を図るため、実需者からの要望のある品目や新たな「地産地商」品目などの導入を支援	ブランド生産振興事業費(有機農業・環境調和型農業支援事業費)	8,000	有機農業をはじめとする地球温暖化防止等に効果の高い営農活動を支援	集落機能維持・向上対策				明日の「京都村」づくり事業費	42,000	地域住民自らが描く村の将来像の実現に向け、地域資源を活かした村オリジナルの農村ビジネスや村づくりを支援		明日のむら人移住促進事業費	50,250	都市部からの移住希望者受入を促進するため、市町村が行う移住者確保のための空き家を活用した定住住宅の整備等を支援		共に育む「命の里」新展開事業費	207,600	後継者不足や農林地の荒廃など厳しい状況にある農山村地域において、緊急的かつ総合的な里の人づくり・基礎づくりを展開		合 計	1,635,282
区分	事 項	予算額	事 業 の 概 要																																																						
農業生産を支える	担い手経営基盤強化対策																																																								
	京力農場づくり事業費	185,000	核となる農業法人等が、農地集積や契約栽培等により、中核的な担い手が不足する集落を牽引する農業経営構造へ転換																																																						
	需要対応生産加速化対策																																																								
	京野菜等生産加速化事業費	148,800	市場・消費者ニーズに対応可能な生産量確保を図るため、生産拡大や安定出荷に必要な施設整備等を支援するとともに、普及センターによる技術指導等伴走支援を実施																																																						
	酒米生産加速化事業費	35,000	酒米の安定供給に必要な施設整備等を支援																																																						
	農業生産維持対策																																																								
	農と環境を守る地域協働活動支援事業費	361,690	地域ぐるみで農地や農業用水等の保全を図る共同活動や施設の長寿命化を図る向上活動を支援																																																						
集落機能を支える	中山間地域等直接支払事業費	523,442	中山間地域等における農業生産活動及び多面的機能を増進する活動を支援																																																						
	中山間地域特産物生産応援事業費	73,500	収入維持・確保による農業生産活動の継続を図るため、実需者からの要望のある品目や新たな「地産地商」品目などの導入を支援																																																						
	ブランド生産振興事業費(有機農業・環境調和型農業支援事業費)	8,000	有機農業をはじめとする地球温暖化防止等に効果の高い営農活動を支援																																																						
	集落機能維持・向上対策																																																								
	明日の「京都村」づくり事業費	42,000	地域住民自らが描く村の将来像の実現に向け、地域資源を活かした村オリジナルの農村ビジネスや村づくりを支援																																																						
	明日のむら人移住促進事業費	50,250	都市部からの移住希望者受入を促進するため、市町村が行う移住者確保のための空き家を活用した定住住宅の整備等を支援																																																						
	共に育む「命の里」新展開事業費	207,600	後継者不足や農林地の荒廃など厳しい状況にある農山村地域において、緊急的かつ総合的な里の人づくり・基礎づくりを展開																																																						
	合 計	1,635,282																																																							
担当課名	農村振興課 地域活性化担当 担い手支援課 農業ビジネス担当 農 産 課 京の米・豆・保険担当	課・担当 電話番号	075-414-4906 075-414-4908 075-414-4953																																																						

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 京力農場づくり事業費		
予算額	185,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 集落営農組織等の法人化、経営多角化や6次産業化などの取組を支援し、農作業受託や農地集積、契約栽培等を推進することで、集落営農組織等が核となり、中核的な担い手が不足する集落を牽引する力強い農業経営構造への転換を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 集落営農発展型農場づくり事業 法人化や経営多角化、農地集積や高収益型作物の新規導入の推進等、集落営農組織等の経営基盤強化に必要な取組を支援</p> <p>① 農地集積型 ※ 要件：中核的担い手が不足する集落から新たに農地を5ha以上集積、高収益型作物の生産及び販売又は加工 等</p> <p>② 京野菜生産拡大型（追加） ※ 要件：需要が高い京野菜を新たに30a以上生産、生産と出荷調整の分業化体制の確立 等</p> <p>(2) 企業的農業経営体づくり事業</p> <p>① 農業経営体育成事業 6次産業化による農業経営体の経営強化を、ビジネスプランの作成・ブラッシュアップや施設・機械整備助成により支援</p> <p>② 食品関連企業参入促進事業 契約栽培などを通じた地域の担い手を確保・育成するため、食品関連企業が実施する農産物処理加工施設の整備を支援 ※ 要件：府内産農産物の5割以上取扱い</p>		
担当課名	担い手支援課 農業ビジネス担当 農 産 課 京野菜振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4908 075-414-4944

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 京野菜等生産加速化事業費										
予算額	148,800千円	新規・継続の別	新規								
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 市場・消費者ニーズに対応可能な生産量確保を図るため、生産拡大や安定出荷に必要な施設整備等を支援するとともに、普及センターによる技術指導等の伴走支援を実施</p> <p>2 事業概要 (1) 京野菜生産加速化事業費 137,000千円 ① パイプハウス等整備促進事業 出荷の回転数を上げることや出荷時期の調整が可能なパイプハウス等の整備を支援</p> <table border="1" data-bbox="400 1178 1445 1559"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>3戸以上の農業者で組織する団体 等</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>パイプハウスの新設経費及び再利用ハウスの移設経費 等</td> </tr> <tr> <td>補助要件</td> <td>導入するパイプハウスの面積が一定規模以上であること 等</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2以内</td> </tr> </table> <p>② 京野菜生産加速化支援活動事業 普及指導員等による技術指導等の伴走支援を実施</p> <p>(2) 黒大豆・小豆生産加速化事業費 11,800千円 新技術の普及や作業の機械化・省力化を支援</p>			補助対象者	3戸以上の農業者で組織する団体 等	補助対象経費	パイプハウスの新設経費及び再利用ハウスの移設経費 等	補助要件	導入するパイプハウスの面積が一定規模以上であること 等	補助率	1/2以内
補助対象者	3戸以上の農業者で組織する団体 等										
補助対象経費	パイプハウスの新設経費及び再利用ハウスの移設経費 等										
補助要件	導入するパイプハウスの面積が一定規模以上であること 等										
補助率	1/2以内										
担当課名	農産課 京の米・豆・保険担当 京野菜振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4953 075-414-4944								

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 酒米生産加速化事業費										
予算額	35,000千円	新規・継続の別	新規								
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 酒米の安定供給に必要な施設整備等を支援し、生産拡大を強力に推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京の酒米種子産地確保事業 15,000千円 種子センターの乾燥・調製機能の増強により、安定供給体制を確保 ●事業主体：農業者で組織する団体 ●補助率：1/2以内</p> <p>(2) 京の酒米産地づくり加速化事業 20,000千円</p> <p>① 京の酒米緊急増産事業 酒米専用の省力生産機械の導入や施設増強を支援</p> <table border="1" data-bbox="416 1326 1430 1702"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>3戸以上の農業者で組織する団体 等</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>省力生産機械の導入や施設増強に要する経費</td> </tr> <tr> <td>補助要件</td> <td>5ha以上の酒米拡大作付（農作業受託含む） 等</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>4/10以内</td> </tr> </table> <p>② 京の酒米グレードアップ事業 酒米振興プロジェクト（府、農業団体及び酒造業界で構成）による、酒米産地と酒造メーカーのマッチングや普及指導員等による伴走支援</p>			補助対象者	3戸以上の農業者で組織する団体 等	補助対象経費	省力生産機械の導入や施設増強に要する経費	補助要件	5ha以上の酒米拡大作付（農作業受託含む） 等	補助率	4/10以内
補助対象者	3戸以上の農業者で組織する団体 等										
補助対象経費	省力生産機械の導入や施設増強に要する経費										
補助要件	5ha以上の酒米拡大作付（農作業受託含む） 等										
補助率	4/10以内										
担当課名	農産課 京の米・豆・保険担当	課・担当 電話番号	075-414-4953								

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 農と環境を守る地域協働活動支援事業費								
予算額	361,690千円	新規・継続の別	継 続						
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 趣 旨 地域ぐるみでの地域資源の基礎的保全活動、質的向上活動や、施設の長寿命化のための活動を支援することで、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域コミュニティの構築による地域力再生を図る。								
	2 事業概要								
	事業区分	事業内容							
	農地維持 支 払	農地法面の草刈、水路の泥上げ、農道の砂利補充等の地域資源の基礎的保全活動及び農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成等への支援 <table border="1" data-bbox="662 1030 1244 1209"> <tr> <td rowspan="3">支援単価</td> <td>田</td> <td>3,000円/10a</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>2,000円/10a</td> </tr> <tr> <td>草地</td> <td>250円/10a</td> </tr> </table>		支援単価	田	3,000円/10a	畑	2,000円/10a	草地
支援単価	田	3,000円/10a							
	畑	2,000円/10a							
	草地	250円/10a							
資源向上 支 払 (共同活動)	地域資源の質的向上を図る共同活動（水路、農道、ため池の軽微な補修、農村環境保全活動の幅広い展開等）への支援 <table border="1" data-bbox="662 1377 1244 1556"> <tr> <td rowspan="3">支援単価</td> <td>田</td> <td>2,400円/10a</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>1,440円/10a</td> </tr> <tr> <td>草地</td> <td>240円/10a</td> </tr> </table> ※農地・水保全管理支払の5年以上継続地区は7.5割単価 長寿命化に取り組む地区は7.5割単価		支援単価	田	2,400円/10a	畑	1,440円/10a	草地	240円/10a
支援単価	田	2,400円/10a							
	畑	1,440円/10a							
	草地	240円/10a							
資源向上 支 払 (長寿命化)	水路や農道などの施設の老朽化部分の補修や更新への支援 <table border="1" data-bbox="662 1769 1244 1948"> <tr> <td rowspan="3">支援単価</td> <td>田</td> <td>4,400円/10a</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>2,000円/10a</td> </tr> <tr> <td>草地</td> <td>400円/10a</td> </tr> </table>		支援単価	田	4,400円/10a	畑	2,000円/10a	草地	400円/10a
支援単価	田	4,400円/10a							
	畑	2,000円/10a							
	草地	400円/10a							
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906						

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 中山間地域等直接支払事業費																																												
予算額	523,442千円	新規・継続の別	継続																																										
事業内容 (目的対象方法等)	<p>1 趣 旨 耕作放棄地の増加等により国土の保全、水源のかん養等の多面的機能の低下が懸念される中山間地域等において、農業生産活動の維持を支援し、多面的機能の確保を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1)対象地域 地域振興8法（特定農山村・山村・過疎・半島等）及び知事特認地域</p> <p>(2)対象農用地 農振農用地区域内の一団の農用地（1ha以上）であって、以下の基準を満たすもの</p> <p>①急傾斜地（田1/20、畑15度以上）</p> <p>②自然条件により小区画・不整形な田</p> <p>③緩傾斜地（田1/100、畑8度以上）、又は高齢化率・耕作放棄率の高い農用地で市町村長が特に必要と認めるもの</p> <p>(3)対象行為 集落協定等に基づき、5年間以上継続して行われる農業生産活動等</p> <p>(4)対象者 集落協定等に基づき、5年間以上継続して農業生産活動等を行う者</p> <p>(5)実施期間：平成22年度～26年度</p> <p>(6)交付単価 (単位：円/10a)</p> <table border="1" data-bbox="387 1312 1458 1686"> <tr> <td></td> <td>急傾斜 (田1/20～、畑15度～)</td> <td>緩傾斜等 (田1/100～、畑8度～)</td> </tr> <tr> <td>田</td> <td>21,000</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>11,500</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td>※加算単価</td> <td>水田</td> <td>畑</td> </tr> <tr> <td>規模拡大加算</td> <td>1,500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>土地利用調整加算</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>小規模・高齢化集落支援加算</td> <td>4,500</td> <td>1,800</td> </tr> <tr> <td>法人設立加算(特定農業法人)</td> <td>1,000</td> <td>750</td> </tr> <tr> <td>法人設立加算(農業生産法人)</td> <td>600</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>集落連携促進加算</td> <td>2,000</td> <td>2,000</td> </tr> </table> <p>※ただし、農業生産活動等の体制整備として取り組むべき事項を実施しない場合には、上記単価に0.8を乗じた額とする。</p> <p>(7)実施主体：市町村</p> <p>(8)負担区分</p> <table border="1" data-bbox="387 1827 1147 1933"> <tr> <td></td> <td>国</td> <td>府</td> <td>市町村</td> </tr> <tr> <td>8法地域</td> <td>1/2</td> <td>1/4</td> <td>1/4</td> </tr> <tr> <td>特認</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> </table> <p>(9)平成26年度対象見込面積 5,280ha</p>				急傾斜 (田1/20～、畑15度～)	緩傾斜等 (田1/100～、畑8度～)	田	21,000	8,000	畑	11,500	3,500	※加算単価	水田	畑	規模拡大加算	1,500	500	土地利用調整加算	500	500	小規模・高齢化集落支援加算	4,500	1,800	法人設立加算(特定農業法人)	1,000	750	法人設立加算(農業生産法人)	600	500	集落連携促進加算	2,000	2,000		国	府	市町村	8法地域	1/2	1/4	1/4	特認	1/3	1/3	1/3
	急傾斜 (田1/20～、畑15度～)	緩傾斜等 (田1/100～、畑8度～)																																											
田	21,000	8,000																																											
畑	11,500	3,500																																											
※加算単価	水田	畑																																											
規模拡大加算	1,500	500																																											
土地利用調整加算	500	500																																											
小規模・高齢化集落支援加算	4,500	1,800																																											
法人設立加算(特定農業法人)	1,000	750																																											
法人設立加算(農業生産法人)	600	500																																											
集落連携促進加算	2,000	2,000																																											
	国	府	市町村																																										
8法地域	1/2	1/4	1/4																																										
特認	1/3	1/3	1/3																																										
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906																																										

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 中山間地域特産物生産応援事業費		
予算額	73,500千円	新規・継続の別	新規
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 趣 旨 収入維持・確保による農業生産活動の継続を図るため、実需者からの要望のある品目や新たな「地産地商」品目などの導入を支援		
	2 事業概要 (1) 需要対応型特産物生産支援事業費 (50,000千円) 需要に応じた地域特産物づくりの取組を、地域アグリネット(仮称)(農商工連携のプラットフォーム)や普及指導員等の伴走により支援		
	補助対象者	地域振興5法(特定農山村・山村・過疎・半島等)の地域内にある集落	
	補助対象経費	品目導入(産地づくり)に必要な種苗・資材等購入、技術研修、農業機械導入、販促活動や商品開発に要する経費	
	補助要件	地域特産物生産計画の策定 (生産者と実需者が一体となった取組の実施 集落ぐるみでの支え合いによる農業生産の継続 等)	
	補助率等	1/2以内(補助上限額:1,500千円/3箇年)	
(2) 需要対応型特定品目生産奨励事業費 (23,500千円) 特に、酒造業界や畜産農家からの要望の高い酒米や稲WCSに対応するため、生産拡大の取組を緊急に支援(平成26年度限り)			
① 酒米生産に必要な倒伏軽減、施肥、防除等の掛かりまし経費を支援	補助対象者	酒米を10a以上拡大生産・販売する農家	
	補助要件	3年以上の継続栽培(補助は、初年度のみ)	
	補助率等	8,000円/10a(補助対象面積:増産面積のみ)	
② 稲WCSの作業受託に必要な専用機械(収穫・調製)のリース導入支援	補助対象者	農業者で組織する団体(※国リース制度活用の場合に限る)	
	補助要件	受託面積の20ha(中山間地域10ha)以上の拡大	
	補助率	1/4以内	
<参考>稲WCS(稲発酵粗飼料):稲の実と茎葉を同時に収穫し発酵させた牛の飼料			
担当課名	農産課 京の米・豆・保険担当 畜産課 畜産振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4953 075-414-4983

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 明日の「京都村」づくり事業費		
予算額	42,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 地域ぐるみで意欲的に農山漁村ビジネスや集落維持・発展活動に取り組む農山漁村集体を支援することで、地域の活力と生活満足度の維持・向上を図る。</p> <p>2 事業概要 地域住民自らが描く村の将来像の実現に向け、地域資源を活かした村オリジナルの農山漁村ビジネスや村づくりに対して、計画づくりから実践までを伴走支援する。</p> <p>(1) 「京都村」づくり総合支援事業 36,000千円 事業主体： 集落連携体等 事業費： 1地区当たり20,000千円／3箇年 補助率： 1／2 事業内容： 目指すべき村の将来像の実現に向けて総合的に支援（支援の例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 6次産業村：直売所を核とした加工品の開発・販売 近隣観光スポットとの連携による誘客等 ○ 体験農園村：体験農園を核とする学校との連携による体験教室の開催や食育等の推進 ○ 漁港めし村：低利用水産物を活用した加工品の開発・販売 <p>(2) 「京都村」づくり伴走支援事業 6,000千円 取組地区の計画づくり・経営指導等を行う「京都村支援員」及び進捗管理・効果検証等を行う「京都村支援ネット」を設置・運営</p>		
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事業名</p>	<p>京力農業・農村総合対策事業費 明日のむら人移住促進事業費</p>		
<p>予算額</p>	<p>50,250千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕</p>	<p>1 趣 旨 都市部からの移住希望者受入を促進するため、市町村が行う移住者確保のための空き家を活用した定住住宅の整備等を支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 移住相談窓口の設置・運営 (府) 3,500千円 農山村地域への移住相談対応、農村情報の発信や移住相談会等を実施</p> <p>(2) 農山村地域への移住促進対策 (市町村) 46,750千円 市町村が行う以下の取組を総合的に支援 (府1/2、市町村1/2)</p> <p>① 移住者受入体制強化対策 移住者受入を進める地域連携組織等による受入体制づくり ・ 空き家調査、空き家流動化のための合意形成 ・ 移住希望者との面接、受入の調整 ・ 移住アドバイザー (宅建資格者など) の活用 等</p> <p>② 空き家流動化対策 定住住宅の整備等による空き家の流動化対策 ・ 空き家を改修した移住促進住宅の整備 ※市町村が空き家の改修に要した経費の1/2を支援 (補助対象事業費：上限 1,800千円/戸) ・ 空き家を移住者に売却・賃貸するために必要な家財の撤去等</p>		
<p>担当課名</p>	<p>農村振興課 地域活性化担当</p>	<p>課・担当 電話番号</p>	<p>075-414-4906</p>

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 共に育む「命の里」新展開事業費		
予算額	207,600千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨 過疎化・高齢化の進む農山村地域において、里の人づくりや基礎づくりに資する事業を総合的に実施し、安全な食料や水、空気の供給など府民生活を支える「命の里」としての維持・再生を図る。</p> <p>2 事業概要 地域の抱える多様な課題を解決するためにソフト・ハード一体の総合的施策により地域の再生と持続的発展を支援</p> <p>【再生支援】 (1)里の人づくり 複数集落の連携や集落とNPO等多様な主体が連携した組織の育成及び活動支援、行政（里の仕事人）や民間人材（里の仕掛人）の派遣等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 里の人づくり事業費 37,500千円 <p>(2)里の基礎づくり 住民協働による生活道路や農業用施設等の整備・保全、地域が自ら考え実践する地域課題解決の事業の実施等を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 里の基盤整備事業費 150,000千円 ・ 里の地域活力再生事業費 17,000千円 <p>【自立支援】 企業及び個人からの寄付や支援等による民間資金を活用した農山村地域の再生活動の持続と行政支援からの自立を促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 命の里ビジネス推進事業費 3,100千円 		
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	共に育む「命の里」新展開事業費 里の人づくり事業費		
予算額	37,500千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>過疎化・高齢化集落を含む農山村地域の複数集落による連携組織の設立や地域の実情に応じた里力再生計画の策定、再生計画に基づく活動を地域と協働しながら支援することで、地域の絆や知恵を出し合い課題解決に取り組む力である「里力」を再生し、過疎化・高齢化の進む農山村地域の再生を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 地域連携組織設立活動支援事業</p> <p>地域連携組織等の運営・活動に要する経費に対し補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里力再生計画づくりや各種事業の調整、実施など地域連携組織の運営 ・地域資源の活用に向けた調査・検討 ・地域連携組織の中心となって調整等を行う里力再生推進員の設置 ・地域課題の解決に向けた適地適策事業の実施 <p>○事業主体：地域連携組織</p> <p>○補助率：府 1 / 2、市町村等 1 / 2</p> <p>(2) 人材支援事業</p> <p>①「里の仕事人(府職員)」の配置・活動</p> <p>地域連携組織等の運営や事務処理等を支援する「里の仕事人」の配置・活動</p> <p>②「里の仕掛人(民間人材)」の配置・活動</p> <p>地域のマネジメントや外部企業等とのネットワークの形成、生活サポート・地域おこしや社会的起業を行う「里の仕掛人」の配置・活動</p>		
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	共に育む「命の里」新展開事業費 里の基盤整備事業費														
予算額	150,000千円	新規・継続の別	継 続												
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨 後継者不足や農林地の荒廃など厳しい状況にある農山村地域において、生活環境基盤や農業生産基盤、営農基盤を維持保全するために複数集落が連携・協力して取り組む活動等を支援することで、農山村地域の再生を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <table border="1" data-bbox="370 909 1430 1924"> <thead> <tr> <th data-bbox="370 909 507 983">区分</th> <th data-bbox="507 909 1251 983">事業内容</th> <th data-bbox="1251 909 1430 983">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="370 983 507 1301">生活環境基盤</td> <td data-bbox="507 983 1251 1301">未整備や劣化、狭小や見通し不良など、日常的な利用に支障を来している生活道路や生活用排水路の補修など、生活環境基盤の整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、地域連携組織等 【補助率】2/3以内 【対象】集落内の生活道路や生活用排水路等の補修、転落防止柵や街灯の設置など</td> <td data-bbox="1251 983 1430 1301">千円 85,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="370 1301 507 1630">農業生産基盤</td> <td data-bbox="507 1301 1251 1630">劣化等により機能が低下している農道や農業用水路の補修など、農業生産基盤の総合的・一体的な整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、土地改良区等 【補助率】2/3以内 【対象】農道、農業用水路の補修、法面補修、暗渠排水、客土、鳥獣害防止柵設置、ため池応急補修、転落防止柵設置など</td> <td data-bbox="1251 1301 1430 1630">千円 45,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="370 1630 507 1924">営農基盤</td> <td data-bbox="507 1630 1251 1924">複数の集落単位で地域農業を互いに支え合う広域的な営農体制を構築するために必要な施設・機械の整備に要する経費を補助 【実施主体】集落営農組織等 【補助率】1/2以内 【対象】農業用機械・施設、農産物販売・加工用機械・施設、新規参入者住宅の改修など</td> <td data-bbox="1251 1630 1430 1924">千円 20,000</td> </tr> </tbody> </table>			区分	事業内容	予算額	生活環境基盤	未整備や劣化、狭小や見通し不良など、日常的な利用に支障を来している生活道路や生活用排水路の補修など、生活環境基盤の整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、地域連携組織等 【補助率】2/3以内 【対象】集落内の生活道路や生活用排水路等の補修、転落防止柵や街灯の設置など	千円 85,000	農業生産基盤	劣化等により機能が低下している農道や農業用水路の補修など、農業生産基盤の総合的・一体的な整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、土地改良区等 【補助率】2/3以内 【対象】農道、農業用水路の補修、法面補修、暗渠排水、客土、鳥獣害防止柵設置、ため池応急補修、転落防止柵設置など	千円 45,000	営農基盤	複数の集落単位で地域農業を互いに支え合う広域的な営農体制を構築するために必要な施設・機械の整備に要する経費を補助 【実施主体】集落営農組織等 【補助率】1/2以内 【対象】農業用機械・施設、農産物販売・加工用機械・施設、新規参入者住宅の改修など	千円 20,000
区分	事業内容	予算額													
生活環境基盤	未整備や劣化、狭小や見通し不良など、日常的な利用に支障を来している生活道路や生活用排水路の補修など、生活環境基盤の整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、地域連携組織等 【補助率】2/3以内 【対象】集落内の生活道路や生活用排水路等の補修、転落防止柵や街灯の設置など	千円 85,000													
農業生産基盤	劣化等により機能が低下している農道や農業用水路の補修など、農業生産基盤の総合的・一体的な整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、土地改良区等 【補助率】2/3以内 【対象】農道、農業用水路の補修、法面補修、暗渠排水、客土、鳥獣害防止柵設置、ため池応急補修、転落防止柵設置など	千円 45,000													
営農基盤	複数の集落単位で地域農業を互いに支え合う広域的な営農体制を構築するために必要な施設・機械の整備に要する経費を補助 【実施主体】集落営農組織等 【補助率】1/2以内 【対象】農業用機械・施設、農産物販売・加工用機械・施設、新規参入者住宅の改修など	千円 20,000													
担当課名	農村振興課 地域活性化、計画基盤担当 担い手支援課 農業ビジネス担当	課・担当 電話番号	075-414-4906, 5048 075-414-4908												

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	共に育む「命の里」新展開事業費 里の地域活力再生事業費		
予算額	17,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 複数集落が連携して再生活動に取り組む「地域連携組織」が自らが考え実践する地域課題解決の取組を支援し、過疎化・高齢化の進む農山村地域が抱える多様な課題の解決を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 地域が自ら考え実践する地域課題解決の取組支援 地域が自ら運営する生活交通事業や地域ぐるみの高齢者見守り、巡回健康相談の実施など、地域が自ら考え実践する地域課題を解決するための事業の実施に要する経費を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業主体 地域連携組織等 ○ 補助率 2／3以内 ○ 事業内容（想定事業） 廃校を活用し、活性化に資する施設の設置 生活交通（地域自主運行デマンド交通システムの導入等） 等 <p>(2) 外部支援者パワーアップ活動 都市地域の大学生等が多様な地域再生につながるプロジェクトを提案し、地域と協働して実践する活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業主体 外部支援者（都市地域の大学生等）と地域が組織する団体 ○ 補助率 2／3以内 <p>(3) 若手・女性グループチャレンジ支援 自由な発想による集落の持続可能な取組へのきっかけづくりのため、地域連携組織の若手・女性グループが実践する取組を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業主体 地域連携組織の若手・女性グループ ○ 補助率 定額補助（1組織20万円以内） 		
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	共に育む「命の里」新展開事業費 命の里ビジネス推進事業費		
予算額	3,100千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 地域が取り組む新たな地域づくり（ビジネス）の実現を地域に寄り添い支援するとともに、企業及び個人からの寄付や支援活動により、農山村の地域再生活動の持続と行政支援からの自立を促進</p> <p>2 事業概要 地域が取り組む新たな地域づくり（ビジネス）をビジネスコーディネーターが支援 事業主体：京都府 支援活動の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農山村からの相談に基づく、都市部との調整業務 ○ 協力者となる企業、団体の開拓及び支援のコーディネート ○ 地域情報の発信やイベントの集客 		
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農 業 経 営 支 援 事 業 費		
予算額	57,134千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 地域農業を担う安定的・継続的な農業経営体を育成するため、認定農業者等の確保から農業経営の法人化や農商工連携・6次産業化による農業ビジネスの取組までを発展段階に応じて総合的に支援する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農業経営力強化総合対策事業</p> <p>① 農業ビジネス力強化推進事業 農業経営の法人化や農業法人の経営力強化等を支援するため、法人設立に当たっての課題等を解決する法人化請負人の派遣や法人税制や会計等の法人化研修会等を開催</p> <p>② 先導的集落法人育成事業 地域においてビジネス感覚に優れた農業者を核とした集落型農業経営体を集中的に育成</p> <p>③ 認定農業者等確保・育成事業 認定農業者を目指す農業者や、集落営農組織の経営力強化を図り経営感覚に優れた経営体を確保・育成するために行う市町村の活動を支援</p> <p>(2) 農業ビジネス支援事業 農業ビジネスの取組を推進するため、(公社)京都府農業総合支援センターが実施する専門家派遣や「地域アグリネット(仮称)」などを通じたビジネスマッチング、加工食品の試作品づくりに必要な助言等、発展段階に応じた支援を実施</p>		
担当課名	担い手支援課 農業ビジネス担当	課・担当 電話番号	075-414-4908

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	健康京野菜研究開発事業費		
予算額	6,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 10px;"> 目的 対象 方法等 </div>	<p>1 趣 旨 京野菜の「発がん予防効果」等を医学的に検証するとともに、「健康京野菜」食品の商品化・販売を促進し、新たな京野菜需要を創出</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京野菜の「発がん予防効果」等を医学的に検証 5,000千円 医学系研究機関と連携し、京野菜の「発がん予防効果」等について、医学的に検証し、京野菜の価値をさらに向上</p> <p>(2) 「健康京野菜」食品の開発・商品化・販売の促進 1,000千円 府、食品企業、大学、消費者等で構成する京野菜機能性活用推進連絡会による「健康京野菜」食品の開発普及を実施</p> <p>①様々な食品加工に応用できる一次加工素材を試作し、「健康京野菜」食品の開発を加速</p> <p>②京野菜の健康増進効果やアンチエイジング効果を全国に発信</p>		
担当課名	研究普及ブランド課 研究普及担当	課・担当 電話番号	075-414-4968

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	ブランド京野菜需要開拓事業費		
予算額	48,580千円	新規・継続の別	新規
事業内容 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 目的 対象 方法等 </div>	<p>1 趣 旨 企業との協働による安定した需要先の確保や京野菜ランドの展開により、ブランド京野菜を中心に、京都府産野菜全体の需要を拡大</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 安定した需要先確保・トップブランド品目の育成 7,600千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手食品企業との協働による商品開発等業務需要の拡大 ・消費者にアピールできる一流シェフによるレシピの開発や、健康京野菜の販売促進によるトップブランド品目（万願寺とうがらし、紫ずきん等）の育成 <p>(2) 京野菜ファン・消費拡大を図る京野菜ランドの展開 40,980千円</p> <p>① 京野菜の「学び」の展開 「京の食文化ミュージアム・あじわい館」を拠点とした府内産農林水産物の魅力発信</p> <p>② 京野菜の「食」の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「旬の京野菜提供店」の認定拡大 ・直売所等の食農体験支援 <p>③ 京野菜ファン・消費の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京野菜の魅力を感じることができるツアーの実施 ・量販店における京都府産野菜コーナーの設置 ・農林水産フェスティバル、九条ねぎフェスティバル、東京・京野菜フェアの開催 		
担当課名	食の安心・安全推進課 食育・地産地消担当 研究普及ブランド課 ブランド推進担当	課・担当 電話番号	075-414-5656 075-414-4941

平成26年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	中核新規就農者倍增事業費		
予算額	409,571千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 農業の新たな担い手の確保を図るため、就農・就業希望者の相談から技術習得、地域定着までをワンストップで支援し、円滑な新規就農・就業を促進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農林水産業ジョブカフェ事業 農林水産業への新規就業等相談の総合窓口「農林水産業ジョブカフェ」の設置・運営及び新規就農希望者に対する農業体験研修や就農・就業相談会等の実施</p> <p>(2) 担い手づくりサポートセンター事業 農業法人等の「就農サポーター」による雇用研修や農業基礎講座を実施</p> <p>(3) 担い手養成実践農場事業 地域における「技術習得」から「就農」までを一貫して支援 (支援内容) <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域とのマッチング及び農地の確保 ・ 技術指導者の設置、農地の借上、農地の簡易整備、住宅改修、研修用農機・施設の借上等経費の支援 ・ 農村生活についての助言等を行う担い手づくり後見人の設置 </p> <p>(4) 新規就農者確保事業 青年が行う就農前の研修期間（2年以内）及び経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保する給付金（150万円／年）を交付 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 就農準備給付金：先進農家等で研修を受ける45歳未満の青年 ② 経営開始給付金：市町村の「京力農場プラン」に位置付けられた（又は位置付けられると見込まれる）45歳未満の独立・自営就農者 </div> </p> <p>(5) 農業後継者定着促進事業 就農研修（準備）資金の貸付け及び就農研修資金の償還に対する助成</p>		
担当課名	担い手支援課 新規就業・金融担当	課・担当 電話番号	075-414-4902

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農業経営実践型学舎づくり事業費		
予算額	80,426千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 丹後国営開発農地のスケールメリットを活かした大規模野菜作を実践できる担い手の育成・確保及びブランド京野菜の一大産地の形成を推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 丹後農業実践型学舎 「丹後農業実践型学舎」において、担い手養成実践農場の仕組みを活用し、大規模営農技術や加工・流通・販売の総合的な実践研修を実施</p> <p>○整備内容：研修用農地の借上・土壌改良、農業機械の整備 等</p> <p>※丹後農業実践型学舎の概要 対 象 者：概ね40歳未満の若手農業者（10人／年） （農業法人就業者等で、大規模農業経営を目指す農業者） 研修品目：九条ねぎ，短形ごぼう(ごぼ丹)，聖護院だいこん 等</p> <p>(2) 京都府若手農業経営者アカデミー 全国トップクラスの農業経営者等を講師陣に迎え、農業経営力を身に付けることができる「京都府若手農業経営者アカデミー」を農業大学校で実施</p>		
担当課名	担い手支援課 新規就業・金融担当	課・担当 電話番号	075-414-4902

平成26年度当初予算案主要事項説明

健康福祉部
農林水産部

事業名	きょうと「食の安心・安全」確保事業費		
予算額	80,740千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣旨 多発する食品偽装や残留農薬等、府民の食への不安が高まる中、関係部局が連携し、食品表示の適正化、食品衛生監視指導等を強化することにより、府民の食への信頼の回復を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食品表示パトロール（1,848千円） 産地偽装など食品表示に関する事件が多発する中、関係職員（農林水産・健康福祉・府民生活）が合同巡回調査を実施することにより、違反事実にも効率的かつ迅速に対応し、食の安心・安全を確保する。 ○ 食品衛生監視指導（64,829千円） 食品衛生推進員「京の食“安全見はり番”」等による自主衛生管理の推進、食品衛生監視機動班による事業者への監視・指導の実施や食品等の放射性物質、残留農薬、添加物等の検査体制を充実し、食の安心・安全を確保する。（検査機器の更新等 49,900千円） ○ 食品検査（4,472千円） 府内に流通している食品等の検査を行い、その結果を定期的に公表することにより食の安心・安全を確保する。 ○ 遺伝子組換え食品検査（4,885千円） DNA検査機器により遺伝子組換え食品の分析を実施し、表示内容の検査を行うことにより、食の安心・安全を確保する。 ○ 拠点保健所業務管理基準（GLP）導入（4,706千円） GLP（業務管理基準）の導入により、精度管理体制の構築、検証体制の整備を図り、検査の信頼性を確保する。 		
担当課名	生活衛生課 食の安心・安全推進課	食品衛生担当 食の安全担当	課・担当 電話番号 075-414-4773 075-414-5654

平成26年度当初予算案主要事項説明

商工労働観光部・農林水産部

事業名	丹後・食の王国構想セカンドステージ推進事業費		
予算額	13,800千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 丹後地域の持つ良質で豊かな地域資源である「食」をテーマに、丹後あじわいの郷を核として、丹後地域一帯に「食」関連の産業が連たん立地する一大回廊を構築することを目指す「丹後・食の王国構想」の実現を図る</p> <p>2 事業内容 (1) 食関連ビジネスの創出と拡大</p> <p>①丹後・がんばる事業者連携プロジェクト事業 ・丹後の生産者、食品加工業者による「丹後ビジネス連携推進会議」を中心に丹後の食材の販路拡大やPR等を実施</p> <p>②共同連携集出荷トライアル事業 ・丹後の食材の流通ルートを構築するトライアル事業の安定的な運営を支援</p> <p>③丹後の食材売り込み促進プロジェクト事業 ・首都圏での商談会へ丹後・食の王国ブースの出展 ・都市部での丹後食材の販売フェアを開催 ・旅行業者との連携による丹後食材を活用した観光誘客の促進</p> <p>(2) 丹後「食」の10次産業化の展開 丹後10次産業化展開事業【新規】 ・産学公連携を円滑に進めるための地域窓口となる「丹後10次産業化普及員」の配置 ・今後の丹後の「食」を支える人材（高校生等）を対象とした「学生レストラン」の実施</p>		
担当課名	産業労働総務課 農村振興課	企画・地域戦略担当 地域活性化担当	課・担当電話番号 075-414-4819 075-414-4906

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京都モデルファーム推進事業費		
予算額	6,300千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>高齢化等により集落内での活用が困難な耕作放棄地と農業の多面的機能に着目した社会貢献活動等を指向する企業やNPO法人をマッチングすることにより、企業やNPO法人等の多様な主体が地域と協働して取り組む農地の保全活動を支援し、農地の有効活用を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農業会議実施事業 京都府農業会議に「モデルファーム推進員」を設置し、企業・NPO法人等からの農地相談対応や受入集落の掘り起こし、集落内合意形成などを支援</p> <p>(2) 市町村農業委員会実施事業 市町村農業委員会に相談員を設置し、受入集落からの相談対応や集落と企業・NPO法人等とのマッチングなどを支援</p>		
担当課名	担い手支援課 農地担当	課・担当 電話番号	075-414-4910

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農業者経営復興特別支援事業費		
予算額	30,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	1 趣 旨 就農後10年程度の農業者で、平成16年台風23号に続き、平成25年台風18号により被災した者に対し、営農の継続を支援するため、必要な資金を貸し付ける。		
	2 事業概要		
	対 象 者	平成16年台風23号に続き、平成25年台風18号により被災した農業者のうち、以下の要件を満たし、平成25年度に貸付承認を受けた者 ①「経営復興計画」に基づき、復興を目指す者 （他品目への転換や府内他地域での再建を含む） ②被災状況について農業改良普及センターが確認し、 適当と認める者	
	資金使途	経営復興に必要となる経費	
	貸 付 限 度 額	240万円（120万円／年）	
	償還期間 <small>（うち据置期間）</small>	10年以内 <small>（5年以内）</small>	
	貸付利率	無 利 子	
	貸付主体	（公社）京都府農業総合支援センター	
備 考	貸付後、5年以上の営農継続をした場合、償還助成（2／3）を実施し、農業者の負担を軽減		
担当課名	担い手支援課 新規就業・金融担当	課・担当 電話番号	075-414-4902

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	春の農林水産業祭開催事業費								
予算額	8,000千円	新規・継続の別	新規						
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 他府県産と比べて高値で取引される府内産農林水産物の販売促進を府内各地で展開</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1)「京の地元産を買おう」キャンペーンの展開 府内各地で開催される農林水産物の物販を伴う祭や直売所を共通チラシ等により、広く府民に広報</p> <p>(2)「春の農林水産業祭」の開催</p> <p>① 丹後あじわいの郷（北部会場）及び京都府南部総合地方卸売市場（南部会場）で「春の農林水産業祭」を開催</p> <p>② 「農林水産業」元気づくり事業費</p> <table border="1"> <tr> <td>支援内容</td> <td>地域イベントへの生産者による出店等、府内産農林水産物の売上げ向上につながる取組を支援</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td>1/2（上限：300千円）</td> </tr> <tr> <td>対象期間</td> <td>平成26年4月～6月</td> </tr> </table>			支援内容	地域イベントへの生産者による出店等、府内産農林水産物の売上げ向上につながる取組を支援	補助率等	1/2（上限：300千円）	対象期間	平成26年4月～6月
支援内容	地域イベントへの生産者による出店等、府内産農林水産物の売上げ向上につながる取組を支援								
補助率等	1/2（上限：300千円）								
対象期間	平成26年4月～6月								
担当課名	研究普及ブランド課 ブランド推進担当	課・担当 電話番号	075-414-4941						

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業費		
予算額	33,500千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>宇治茶の世界文化遺産登録に向けて、宇治茶生産の景観形成及び府民運動の拡大を推進</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 宇治茶生産の景観形成</p> <p>① 推薦書原案の策定 5,000千円 保存管理計画原案及び資産の特質など推薦書に必要な事項について検討し、推薦書原案を策定</p> <p>② 宇治茶生産の景観整備 24,000千円 宇治茶生産の景観維持等のため、景観に配慮した茶園の農道整備等を支援</p> <p>(2) 府民運動の拡大 3,500千円 世界文化遺産登録を応援する府民運動の輪を広げるために、府民の気運醸成、府民協働及び情報発信の取組を推進</p> <p><取組内容> ・宇治茶府民カレッジ（仮称）の開設 ・イコモス関係者の国内招聘 等</p> <p>(3) 宇治茶の魅力の世界発信 1,000千円 「宇治茶伝道師」による宇治茶の魅力発信や普及活動ができる人材の確保</p>		
担当課名	農政課 企画政策担当 農産課 宇治茶・特産振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4898 075-414-4944

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	家畜防疫対策推進事業費		
予算額	3,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>産学公が連携し開発した大型家畜の密閉輸送が可能となる防疫資材の配備</p> <p>2 事業概要</p> <p>大型の殺処分家畜等の輸送資材として、病原体の散逸防止及び備蓄可能な大型輸送容器を家畜伝染病発生時に備えて家畜保健衛生所に備蓄</p>		
担当課名	畜産課 家畜衛生担当	課・担当電話番号	075-414-4985

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	担い手農地活用加速化事業費		
予算額	131,712千円	新規・継続の別	新規
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨</p> <p>農業経営の規模の拡大、農用地の集団化、新規農業参入の促進等により、担い手のニーズに対応した農地集積の加速化を推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農地中間管理機構事業 農地の中間受け皿となる京都府農地中間管理機構を設置し、借受農地の保全管理や現地調査、担い手へのマッチング等を実施</p> <p>(2) 機構集積協力金交付事業 京力農場プランに基づき、農地中間管理機構にまとまって農地の貸付けを行った地域及び同機構に対する貸付けに伴って離農又は経営転換する者等に対して協力金を交付</p> <p>(3) 機構特例事業 農地の買入に必要な資金の借入に係る利子助成</p>		
担当課名	担い手支援課 新規就業・金融担当	課・担当 電話番号	075-414-4902

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	森林・林業経営イノベーション事業費		
予算額	319,625千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>森林整備の広域化・機械化や流通の合理化、加工体制の強化などにより、府内産木材の利用の推進を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>森林・林業の経営革新</p> <p>○林業経営高度化事業費 7,500千円</p> <p>利用間伐に取り組めない森林組合と民間林業事業者との広域的な森林施業の協業化を促進するため、林業経営高度化センターの取組を支援し、林業事業者の経営規模の拡大と雇用の増大を実現</p> <p>○森づくり加速化事業費 20,525千円</p> <p>従来 of 切捨間伐から利用間伐に転換するため、路網整備や高性能林業機械の導入等による低コスト化の推進を支援し、生産量の拡大を実現</p> <p>府内産木材の流通革新</p> <p>○府内産木材安定供給システム整備事業費 15,200千円</p> <p>原木ストックヤード等の整備を支援することにより、原木の集出荷体制を一元化し、流通コスト（仕分け・輸送）の低減と安定した供給体制の構築による有利販売を実現</p> <p>○木材加工ネットワーク化事業費 276,400千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 製材所の得意分野を活かした分業体制の確立 ・ 地域の加工拠点での乾燥施設等の整備による木材の品質向上 ・ 間伐材の需要増加に対応した加工体制強化 		
担当課名	林務課 企画・経営担当 林業振興担当 林産振興担当	課・担当電話番号	075-414-5016 075-414-5006 075-414-5009

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京都モデルフォレスト推進事業費		
予算額	6,500千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>森林所有者、ボランティア団体、NPO、企業、大学、行政等が連携した府民参画、府民協働による多様な森林づくりを推進するとともに、府民みんなで京都の森を守り育む「京都モデルフォレスト」運動の推進を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1)府民参加型モデルフォレスト推進事業 府民参加の森林づくり活動を推進するとともに、京都モデルフォレスト協会が行う取組を支援する。</p> <p>(2)森づくり交流促進事業 モデルフォレスト活動に関心のあるNPOや企業等と地域とのマッチングや森林づくり活動団体等の交流を促進する。</p> <p>3 事業主体 京都府、市町村等</p>		
担当課名	モデルフォレスト推進課 推進担当	課・担当電話番号	075-414-5006

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	野生鳥獣被害総合対策事業費		
予算額	448,257千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔目的対象方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>野生鳥獣被害に強い地域づくりを進めるため、有害鳥獣捕獲や捕獲の担い手育成、地域ぐるみの防除対策等を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 有害鳥獣に対する捕獲圧強化 新規担い手確保のための勧誘活動や捕獲班員の短期育成研修、有害捕獲や隣接府県との広域捕獲、個体処分等の推進</p> <p>(2) 地域防除力強化 防護柵の設置、ニホンザル適正管理、クマ剥ぎ被害防止、バッファゾーンの整備など、防除対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥獣被害防止総合対策事業 簡易防護柵から恒久型防護柵への転換を支援 ・ ニホンザル個体数調整推進事業（新規） 広範囲に移動し、個体数調整が必要な群れに対する発信機装着を支援 		
担当課名	森林保全課 野生鳥獣担当	課・担当電話番号	075-414-5023

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	森林の恵みを届ける京の森整備事業費																													
予算額	2,223,819千円	新規・継続の別	一部新規																											
事業内容	<p>1 趣 旨 森林の有する国土保全・水源かん養・CO₂吸収機能や里山を保全する機能等を高度に発揮するため、間伐等森林整備を推進し、併せて森の恵みである木材の利用拡大を支援する。</p> <p>2 事業概要 間伐等森林整備や里山整備を実施し、府民参加による森づくりを推進するとともに、間伐材等府内産木材の利用促進に向けた取組を実施する。</p>																													
	<p>（単位：千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>予算額</th> <th>事業の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">〈環境の保全〉</td> </tr> <tr> <td>森林整備加速化事業費</td> <td>873,290</td> <td>利用間伐や奥地等の条件不利な森林の整備を加速的に推進</td> </tr> <tr> <td>豊かな里山再生事業費</td> <td>70,194</td> <td>森林病虫害の被害を防止し、里山の再生等を推進</td> </tr> <tr> <td colspan="3">〈森の恵みの活用〉</td> </tr> <tr> <td>森林・林業経営イノベーション事業費（森づくり加速化事業費除く）</td> <td>299,100</td> <td>森林整備の広域化・機械化や流通の合理化、加工体制の強化などにより、府内産木材の利用を推進</td> </tr> <tr> <td>府内産木材利用拡大戦略事業費【新規】</td> <td>974,735</td> <td>公共・民間施設での積極的な木材利用を進めるとともに、汎用性のある府内産木材用品の開発等を行い、府内産木材の利用拡大を推進</td> </tr> <tr> <td colspan="3">〈モデルフォレスト運動の推進〉</td> </tr> <tr> <td>京都モデルフォレスト推進事業費</td> <td>6,500</td> <td>豊かな緑を守る条例に基づく府民参加による森づくりの推進</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>2,223,819</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事 項	予算額	事業の概要	〈環境の保全〉			森林整備加速化事業費	873,290	利用間伐や奥地等の条件不利な森林の整備を加速的に推進	豊かな里山再生事業費	70,194	森林病虫害の被害を防止し、里山の再生等を推進	〈森の恵みの活用〉			森林・林業経営イノベーション事業費（森づくり加速化事業費除く）	299,100	森林整備の広域化・機械化や流通の合理化、加工体制の強化などにより、府内産木材の利用を推進	府内産木材利用拡大戦略事業費【新規】	974,735	公共・民間施設での積極的な木材利用を進めるとともに、汎用性のある府内産木材用品の開発等を行い、府内産木材の利用拡大を推進	〈モデルフォレスト運動の推進〉			京都モデルフォレスト推進事業費	6,500	豊かな緑を守る条例に基づく府民参加による森づくりの推進	合 計	2,223,819
事 項	予算額	事業の概要																												
〈環境の保全〉																														
森林整備加速化事業費	873,290	利用間伐や奥地等の条件不利な森林の整備を加速的に推進																												
豊かな里山再生事業費	70,194	森林病虫害の被害を防止し、里山の再生等を推進																												
〈森の恵みの活用〉																														
森林・林業経営イノベーション事業費（森づくり加速化事業費除く）	299,100	森林整備の広域化・機械化や流通の合理化、加工体制の強化などにより、府内産木材の利用を推進																												
府内産木材利用拡大戦略事業費【新規】	974,735	公共・民間施設での積極的な木材利用を進めるとともに、汎用性のある府内産木材用品の開発等を行い、府内産木材の利用拡大を推進																												
〈モデルフォレスト運動の推進〉																														
京都モデルフォレスト推進事業費	6,500	豊かな緑を守る条例に基づく府民参加による森づくりの推進																												
合 計	2,223,819																													
<p>（目的対象方法等）</p>																														
担当課名	林務課 企画・経営担当 林業振興担当 林産振興担当 モデルフォレスト推進課 推進担当 森林保全課 森林土木担当	課・担当電話番号	075-414-5016 075-414-5006 075-414-5009 075-414-5006 075-414-5028																											

平成26年度当初予算案主要事項説明

文化環境部
農林水産部
建設交通部

事業名	森林の恵みを届ける京の森整備事業費 府内産木材利用拡大戦略事業費		
予算額	974,735千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的対象方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>公共・民間施設での積極的な木材利用を進めるとともに、汎用性のある府内産木材用品の開発等を行い、府内産木材の利用拡大の推進を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 府立施設での利用推進 583,450千円 府内産木材施設の建設や、府立施設における府内産木材の備品整備により、木に囲まれ、身近に木材の機能・効能を享受できる公共スペースを創出</p> <p>①府内産木材施設の建設 京都トレーニングセンター（仮称）、舞鶴港旅客対応施設の建設</p> <p>②府民利用施設や教育施設における内装や木製ベンチ等の集中整備</p> <p>(2) 民間施設での利用推進 40,000千円 ウッドマイレージCO₂認証木材を一定量以上使用した住宅、店舗、事務所等の建築（新築、増改築及び内装工事）に対し、その木材使用量に応じて緑の交付金を交付</p> <p>◆ 補助の条件 ウッドマイレージCO₂認証木材を新築で5m³以上、増改築で1m³以上使用（内装は10m²以上使用）</p> <p>◆ 交付金の額 認証木材（構造材）1m³当たり10千円 認証木材（内装材）1m²当たり 2千円</p> <p>◆ 交付限度額 1戸当たりの交付金の限度額 400千円</p> <p>(3) 新製品の開発 2,000千円 オフィス用品メーカー等と連携した、府内産木材を利用した新製品の開発を支援</p> <p>(4) 公共建築物や公共事業での利用推進 349,285千円 公共建築物や府の公共事業での利用により木材の良さをPRするとともに、利用拡大を推進</p>		
担当課名	スポーツ振興室 施設担当 林務課 林産振興担当 港湾課 建設担当	課・担当電話番号	075-414-4284 075-414-5009 075-414-5303

平成26年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部
建 設 交 通 部

事業名	緑の公共事業費		
予算額	2,561,892千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨 地球温暖化の防止や水土保全、水源かん養等に不可欠な京都の森林について、「豊かな緑を守る条例」の制度を活用しながら、多様な主体の参加と連携で森林を守り育てる様々な取組を促進することにより、緑豊かな環境を守り、併せて新たな雇用を創出する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>▶京都モデルフォレストの推進 6,500千円 京都の森林を府民ぐるみで守り育てるモデルフォレスト運動を推進</p> <p>▶公益性の高い森林の整備 1,019,606千円 放置森林、風倒木被害森林や水源地域の森林等の整備推進</p> <p>▶木質資源の積極的な利活用 999,035千円 公共事業等への間伐材利用の促進、ウッドマイレージC02認証制度による府内産木材の利用促進</p> <p>▶森林生態系の保全 536,751千円 野生鳥獣対策、森林病虫害対策の推進</p>		
担当課名	林務課 企画・経営担当	課・担当 電話番号	075-414-5016

緑の公共事業費一覧

(単位：千円)

	区分	事業内容	予算額	担当部局
1	京都モデルフォレストの推進	京都モデルフォレスト推進事業費	6,500	農林水産部
2	公益性の高い森林の整備	いのちと環境の森づくり事業費	2,041	農林水産部
3		災害に強い森づくり事業費	66,000	
4		安心・安全の森整備事業費（公共治山）	62,525	
5		風倒木被害森林緊急再生事業費（公共造林）	15,750	
6		森林整備加速化事業費	873,290	
7		木質資源の積極的な利活用	生活・交通基盤整備事業費	
8		府内産木材利用拡大戦略事業費【新規】	974,735	農林水産部
9	森林生態系の保全	野生鳥獣保護事業費	18,300	農林水産部
10		野生鳥獣被害総合対策事業費	448,257	
11		豊かな里山再生事業費	70,194	
合 計			2,561,892	

平成26年度当初予算案主要事項説明

文化環境部
農林水産部

事業名	農林水産業基盤整備事業費		
予算額	6,178,805千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>ブランド京野菜やブランド水産物などの生産振興により、京都の農林水産業を未来につなげるため、生産基盤を整備するとともに、農山漁村地域の整備を実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>■生産基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京のブランド水産物の生産拠点整備（間人漁港 等） ・効率的な間伐に必要な路網の整備 ・農産物の安定生産のための取水・生産施設整備（丹後国営地区 等） <p>■農山漁村地域の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業集落地域における排水施設の整備（農業集落排水） ・学校などの周辺環境と調和した排水路の整備（巨椋池3期地区） ・保育所等における木造公共建築物、木質バイオマス利用施設の整備 ・土砂・立木等の流出を防止する治山ダムの整備 		
担当課名	水環境対策課 計画担当 農村振興課 計画基盤担当 水産課 基盤整備担当 林務課 林業振興担当 森林保全課 森林土木担当	課・担当 電話番号	075-414-5209 075-414-5048 075-414-4994 075-414-5006 075-414-5028